

# Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度		2023年度	開講キャンパス	宮崎キャンパス	開設学科	管理栄養学科				
科目名称	健康管理概論					授業形態	講義			
科目コード	304600	単位数	2単位	配当学年	2	実務経験教員		アクティブラーニング	○	
担当教員名	木村 志緒、谷口 尚大郎							ICT活用	○	
授業概要	<p>健康管理概論は、「社会・環境と健康」分野に位置付けられている。</p> <p>①本授業では、がん、感染症、社会保障制度、医療制度、福祉制度などについて学習する。 また公衆衛生学で学習した疫学について再学習する。 【知識・理解を応用し活用する能力】</p> <p>②本授業では自分自身が知識を身に付けるにとどまらず、周囲の人と情報交換等を行いながら、他者がどのような取り組みを行っているかを認識したり、良い取り組みがあれば自身にも取り入れるなど、反復学習を進めているにはどうしたらよいかについて共に考え、協調・協働も身に付けられるよう取り組む。 【協調・協働力】</p>									
関連する科目	履修前に、公衆衛生学を受講しておくことが望ましい。 履修後に、保健医療福祉システム論を受講することが望ましい。									
授業の方法と進め方	1. 偶数回の進め方(1)授業前半：教員の説明をきく。(2)授業後半：個別に例題に取り組む⇒クリッカーで感想入力。例題をすでに済ませた人には公衆衛生学に関する模試過去問を希望に応じて配布する。2. 奇数回の進め方(1)授業序盤：何も見ずに配布された問題(20問)を解く⇒回答用紙提出⇒ユニバで提出。(2)授業中盤：解き終わった順で、数名のグループとなり、資料を参照しながら話し合っって統一回答を作成する。(3)授業終盤：教員より回答を受け取り自己採点⇒グループ提出用を提出。3. 第15回目の進め方谷口先生による講義をきく。									
授業計画【第1回】	木村担当：がん（国試問題） がん検診項目、部位別がん死亡率推移等について学習する									
授業計画【第2回】	木村担当：がん（模試問題） 国試過去問に出題されていない内容を付け加えて学習する									
授業計画【第3回】	木村担当：感染症（国試問題） 感染症法に基づく感染症の分類等について学習する									
授業計画【第4回】	木村担当：感染症（模試問題） 国試過去問に出題されていない内容を付け加えて学習する									
授業計画【第5回】	木村担当：社会保障制度（国試問題） わが国の医療費の現状等について学習する									
授業計画【第6回】	木村担当：社会保障制度（模試問題） 国試過去問に出題されていない内容を付け加えて学習する									
授業計画【第7回】	木村担当：地域保健（国試問題） 保健所と市町村保健センターの違い等について学習する									
授業計画【第8回】	木村担当：地域保健（模試問題） 国試過去問に出題されていない内容を付け加えて学習する									
授業計画【第9回】	木村担当：母子保健（国試問題） 母子保健政策の推移、健やか親子21等について学習する									
授業計画【第10回】	木村担当：母子保健（模試問題） 国試過去問に出題されていない内容を付け加えて学習する									
授業計画【第11回】	木村担当：産業保健（国試問題） 労働の3管理などについて学習する									

授業計画 【第12回】	木村担当：産業保健（模試問題） 国試過去問に出題されていない内容を付け加えて学習する
授業計画 【第13回】	公衆衛生学で学習した疫学問題に取り組む(1) ：国試レベルの問題
授業計画 【第14回】	公衆衛生学で学習した疫学問題に取り組む(2) ：模試レベルの問題
授業計画 【第15回】	谷口担当：科学的根拠に基づいた栄養指導を行うために
授業の到達目標	①国家試験に必要な基礎的な知識および類似問題を解く際に活用できる力を身につける【知識・理解を応用し活用する能力】 ②社会人となった時、管理栄養士として他者と連携し、協調・協働して行動できる力を身に付ける【協調・協働力】
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1) / 3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(2)
授業時間外の学習 【予習】	<予習> 学習時間：30分程度 授業当日のテーマ分の国試過去問をweb上の解説等を見ながらでもよいので通読しておく。
授業時間外の学習 【復習】	<復習> 学習時間：30分程度 定期試験や国家試験に向けて、学習した知識を長期的に定着させるために反復学習を行う。
課題に対する フィードバック	(1) 模試問題の解説は授業内に行う (2) 教員が作成したまとめ資料は提出期限以降にユニバの授業資料にアップする (1) (2) のどちらについても、質問等には授業時間外も含め対応する。
評価方法・基準	1) 模試問題正答率・・・16% 2) まとめ資料等提出・・・12% 3) 定期試験・・・72% 上記の項目と割合に基づき、相対的かつ総合的に評価する
テキスト	カレント 改訂 社会・環境と健康公衆衛生学（建帛社）2021年発行
参考書	